

ミズラモグラ

Euroscaptor mizura (Gunther)

モグラ目モグラ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

県内では、白山地域の山地帯から高山帯の限られた地域に分布する。日本固有種。

形態

モグラ属（アズマモグラやコウベモグラ）とミズラモグラ属とは口吻上面の裸出部が異なる。歯数はミズラモグラ属の44本に対してモグラ属は42本である（下顎切歯ミズラモグラ属3本、モグラ属2本）。体重26～35.5g、頭胴長80～106.5mm、尾長20～26mm、後足長13.5～15.4mmであるが（阿部ほか、1994）、白山の1個体の計測値は、体重26.8g、頭胴長86.6mm、尾長15.3mm、後足長14.1mmであった（白山万才谷み1996.10.6採集、子安和弘氏計測）。

国内分布

国内では広島から東北まで分布しているが、孤立分布を示し、中部地方の山岳地帯に多い傾向がうかがえる（阿部ほか、1994）。

県内分布

本県ではこれまでは12件（旧白峰村で9件、旧吉野谷村で3件）の資料があり、4メッシュの分布を示していた（林・子安1998、林、1999）。このうち、3件2メッシュは旧吉野谷村中宮地区、9件2メッシュは亜高山帯から高山帯の資料であった。その後、白山清浄ヶ原（2005年9月21日標高約2,300m）で採集され、1メッシュの分布地が増え、県内では5メッシュの分布となった。

生態

ミズラモグラは、モグラ亜科の中では「最初に大陸から日本へ入ってきた」原始的な種類と言われている（今泉、1987）。昆虫類、ミミズ類、ジムカデ類、ヒル類などを食べる。

生息地の条件

亜高山帯、高山帯等では土壌のみられる場所で生息する。

生存の危機

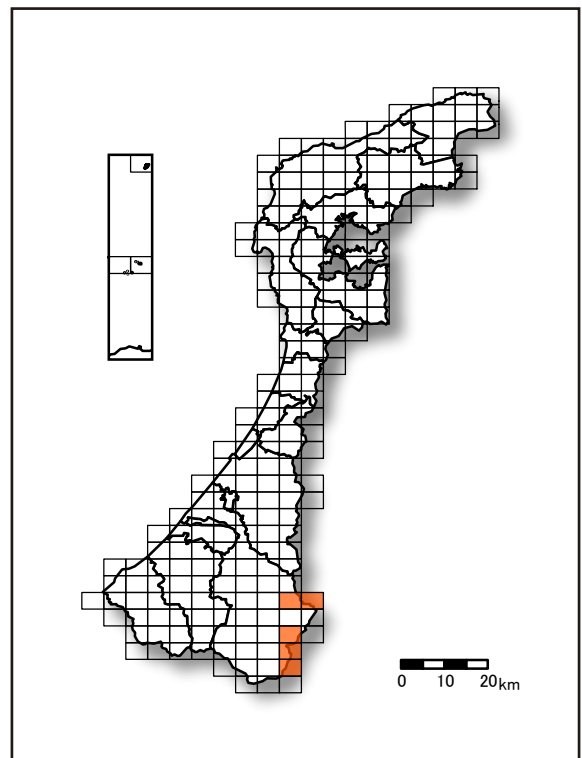
白山地域では、礫地や岩場が多く、地域個体群としては脆弱性が高いと思われる。（A）

特記事項

日本哺乳類学会（1997）では山岳地に分布すること、生息密度が低いことから希少種にしている。環境省では本種を3亜種として準絶滅危惧種に指定している。

参考文献

- 林哲 1999. ミズラモグラ 石川県の哺乳類. 石川県.
林哲・子安和弘 1998. 白山地域のミズラモグラの分布. 石川県白山自然保護センター研究報告 25. 25-28.
今泉吉晴 1987. 空中モグラあらわる. 岩波新書.
日本哺乳類学会 1997. レッドデータ 日本の哺乳類. 文一総合出版.
阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 1994. 日本の哺乳類. 東海大学出版会.



県内の分布